

あすなろ通信

No. **113**

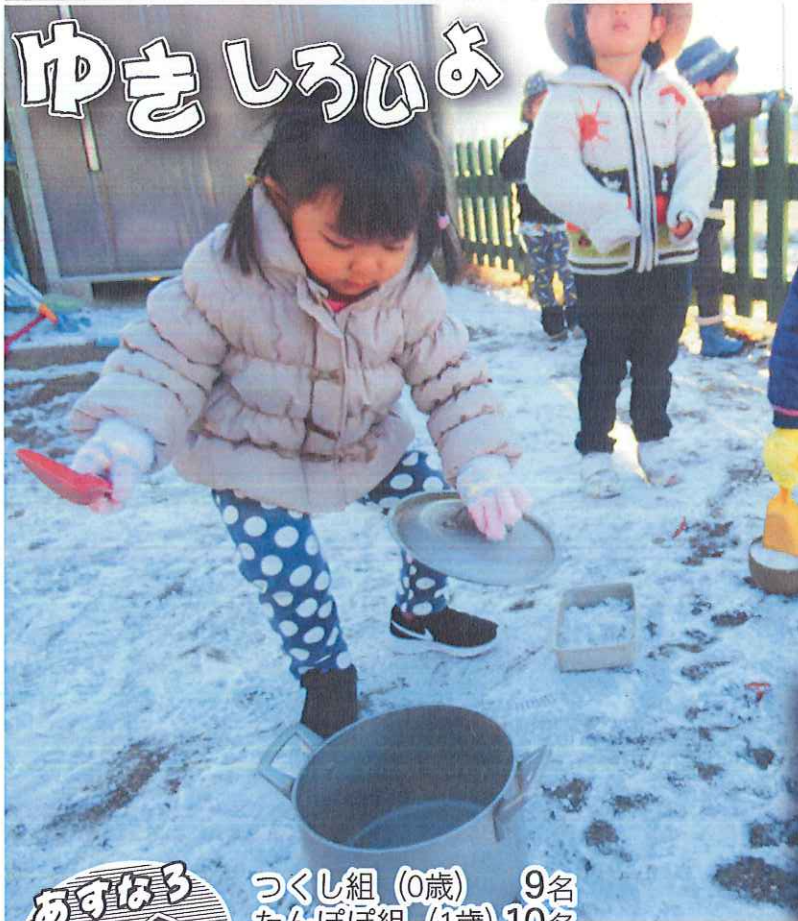
2021.2.1発行

あすなろ保育園後援会

飯田市育良町3-15-2

TEL (0265)23-4656

ゆきしろいよ



この3年ほど、雪が積もらず遊べなかつたのですが、今期は、何度も積もりました。「外に言つて雪で遊ぼうよ」と声をかけると「え〜。いやだあ」「さむい〜」と言つる3歳児も、外に出たらアイス屋さんごっこが始まりました。雪つて、いろいろなものに変身するから楽しいね。



園の裏の斜面でソリ滑り

あすなろ は **今**

- | | |
|------------|-----|
| つくし組 (0歳) | 9名 |
| たんぽぽ組 (1歳) | 10名 |
| ひまわり組 (2歳) | 12名 |
| かっぱ組 (3歳) | 6名 |

まゆの 雑記帳

ステキな子どもたちの
姿を振り返る

今年は「コロナの影響で、

保護者の皆さんに園に来てもらう機会が例年より少なく、園での様子を知らせてもらうために、写真で伝える子どもたちの姿「壁新聞」に力を入れてきました。

日常や行事の中で、伝えたい瞬間をカメラに収め、それがどんな状況か言葉を添えます。

その行動や表情から、その子の心の動きが読み取れる瞬間を撮り、何に興味を持っているのか、何を感じているのか、そこにどんな成長があるのか、保護者の皆さんに伝えられるものになりたいと思っています。

また、壁新聞を子どもたち自身が見て、その時のことを思い出し振り返ることで、子どもたちの楽しかったが明日の保育へ繋がる良さも実感しています。

実際、その瞬間を撮るのはなかなか難しいのですが…ステキな子どもたちの姿をたくさん伝えていきたいです！

みんな おおきくなったね

「春になったら大きい保育園にいくんだよ」という声が聞こえる時期になりました。子どもたちは、いろいろな活動を体験して心も体も大きくなりました。1年間を、各クラス目標をもとに振り返り卒園までの、あすなろ生活を満喫してほしいです。



かっぱパワー!全開!

“行ってみたい!やってみたい!”を楽しんだ1年

かっぱ組ではこの一年、子どもたちの「やってみたい」を大事にし、子ども達の声に耳を傾け、見守り、一緒に楽しむことができました。

ちょっと難しそうなおことにも挑戦してみたり、そんな友達の様子を見て、「自分も!」と挑戦していました。

秋になると、体力もグッとついてきて、遠くまで散歩も楽しんでいけるようになりました。部屋の地図を見ながら「今日はどこ行く?」と友達同士で話したり、行ったことのない道を発見すると「ちょっと行ってみる?」と探検してきました。

遊びや生活の中で子どもたち自身が「こんなことやったらいいかも」と考え、それをみんなに伝えると、みんなも「いいね」「じゃあ、これはどう?」と考えて伝え合うようになっていきました。



あぜ道の小川ジャンプに挑戦!



一色にある長い階段。どこまで続くのかな?



急斜面の土手登り。上までもう少し。



ツラ取り。どうやったら取れるか考えながらいっぱい取りました。



雑巾がけも張りきっています。部屋だけでなくテラスや靴箱もピカピカに拭いています。



大きな丸氷発見!割れないようにみんなでそっと持ち上げました。



下殿岡神社へ散歩。山のすべり台楽しかったね!

友達とつながって広がる“かっぱのわ”

友達同士の関わりもグッと深まった1年でした。友達とやりとりしたり、ごっこの世界も共有して楽しみました。

散歩中や食事の会話も弾んで保育士の入る隙もないほどでした。時には思いがぶつかりケンカになることもありました。少しずつ自分の思いを伝えたり、友達の思いも聞きながら折り合いをつけてまた遊び出すことも出てきました。

友達と一緒にだからこそ、いろいろなことが楽しくて、遊びがどんどん広がっていきました。



みんなで作ったかぼちゃでクッキン「ケーキですよ〜」とケーキ屋さんがグ.つぶして丸めて「かぼちゃのきん 始まると集まってパーティーが始まるとん」を作りました。「美味しかったですね」と大満足でした!

みんなで育てた野菜。トマトの丸かじり美味しかったね。苦手だった子も、自分達で育てて収穫すると、嬉しそうに食べていました。



小川の草を友だちが抜こうとしていると、一人また一人とつながって、絵本の世界をイメージして楽しんでいました。



おしゃべり♪あのね

◎寒い朝の日に

4歳Aくん「今日、ママの車、しもやけ(霜)になってた」

◎おひる後、ねんどあそびの時に手作りの竹のスプーンやナイフをみて

保「これ誰か作ってくれたのかな」

4歳3ヵ月Yちゃん「わかんない。あ!サンタさんがくれたんじゃない?」

◎登園時「おはよう」と言う感じで顔を見せてくれたので

保「おはよう、きょうはだれときたの?」

2歳3ヵ月Sくん大きく胸をはりTシャツのアンパンマンの絵を指差して「アンパンマン」

◎焼き芋大会の時に

4歳6ヵ月Iちゃん煙で葉っぱが空に上がっていくのを見て「じゃあね〜」

3歳10ヵ月Sくん煙を見て「雲に届くかもしれない」

食べる時に「Aちゃん(保育士)、お芋どんくらい食べる?」

保「いっぱいかな」

S「一個にしときな」

◎みそ汁のワカメを2歳11ヵ月Mちゃんが見ていたの「わかめは、海から来たんだに」と言う「わかめつってあげるう〜」

◎稲刈りの後の田んぼをみて

Sくん3歳11ヵ月「お米が小さくなってる!」



ひまわり組
2歳児

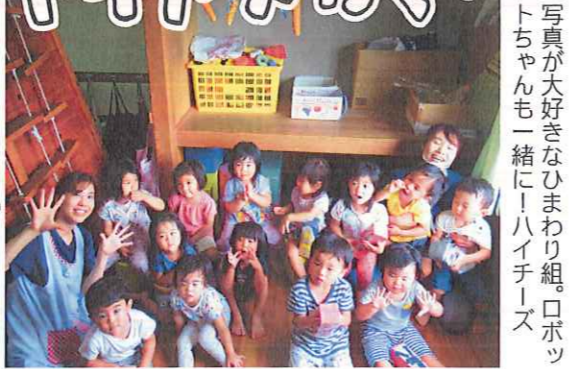
ごっこ遊びがドキドキわくわく
広がって
いく

ひとりの発想が、
みんなの楽しさに繋がる2歳児

この一年は、それぞれのイメージを壊さないようにしながら、大人も子どもたちの世界の中で、一緒に「おもしろい」を探求することを大切にしてきました。散歩をしていた時、一人の子が「山にはおしりーちゃんがいるの」と言い、「おしりーちゃん」という空想のキャラクターがクラスの中で突然生まれました。

山登り遠足まで様々なストーリーを広げて楽しむことができました。「おしりーちゃん」はそれぞれの子どもの中でイメージしているもので、何かひとつの物体があるものではなかったのに、こんなにも空想のキャラクターを楽しむのは、現実と空想があいまいな2歳児ならではの感じました。

一人の「おもしろい」がみんなに広がり、「おもしろい」がどんどん繋がっていくような、とても楽しいひまわり組となりました。



写真が大好きなひまわり組。ロボットちゃんも一緒にハイチーズ

春からお世話を楽しんできたロボットちゃんは、今ではひまわり組の一員のような存在になりました。ロボットちゃんは牛乳パックに、カラー印刷したロボットを貼って作った物(通信111号参照)。

表情や形が変化したり、特徴があるものではなかったのに、子どもたちはどんどんイメージを膨らめて楽しんでいました。



どんな物でも遊びにってしまう子どもたち。焼き芋大会の落ち葉集めに使う袋も、一人の子が布団にして寝始めると、みんなもゴロン。



焼き芋大会ごっこを始めた子。近くにシートを敷くと、違う場所で遊んでいた女の子も焼き芋を食べにやってきました。そして最後にはみんな寝転がっていき、新聞のお布団に。



ボールや紙を入れて温泉ごっこ。「きもちいね」「あったかいね」とお湯に浸かって満喫しています。温泉に入れた紙を回収する子、新しい紙を運んでくる子、保育士のお風呂を作って頭を洗ってくれる子。一つの温泉ごっこの中に、それぞれの子どものイメージや発想があり、みんなで作ったひまわり温泉を楽しみました。



たんぽぽ組
1歳児

一人ひとりが輝けるたんぽぽさんに!

～心と身体を動かしてたくさん遊んだよ～

春から夏にかけて、たんぽぽ組はクラスでスイカを育て楽しむことができました。

スイカの世話は保育士中心でしたが、活動が進むにつれて少しずつ興味を持つようになり、お揃いの帽子や応援の旗、オリジナルソングと共にみんなで応援をしてきました。

スイカの活動で味わった、「みんなといると楽しいな」という経験から、さらにおばけごっこや手つなぎ遊びなど、みんなで一緒に楽しめるようになっていきます。

日々、散歩にでかけ遠出や土手道歩きなどで身体をしっかり使い、自然物ともじっくり向き合い遊んできました。

何にでも興味を持って遊ぶ姿をこれからも大事に見守っていきたいです。



一歳児さんにとってどうやったら楽しめるのだろうかと考え、旗やオリジナルソング、帽子を被って、時には自分達がスイカに変身しながら、日々みんなで畑に行き、スイカさんを応援しました。



とうとう迎えた収穫の日。スイカのおみこし、わっしょいぴっぴっ。みんなで大切なスイカさんを保育園まで運びました。



みんなで同じひとつの気持ちになれた、このスイカの活動。そんな経験を経ての、スイカの味は、より一層美味しい！みんなとだから、もっと美味しい！そんな気持ちを感じられたのではないかと思います。スイカの活動は終わってしまいましたが、ここで感じた楽しさや経験は、他の遊びにも繋がっていているように思えます。



今日もみなでお料理作り。いろいろな物を見立てて遊んでいます。

「あすなる保育園をつくる会」の活動に関わった思い出話 (2)

(元保護者 高森町)木村 典雄

飯田市より「区画整理のため、立ち退きの要請」が届く 新園舎建設・認可園実現への取り組み再開

この要請を受け、「あすなる保育園を別の地で継続して運営する」か「閉園する」かで、職員会、保護者会、つくる会それぞれで議論・検討した覚えがあります。

保育要求や保育環境を見ると継続して運営する使命があり、継続すべきであるが、別の地へ保育園を移転するとしたら、いづれにしても大きな負担を覚悟しなくてはな

らないという意見が前提としてありました。議論の末、1981年に発足した「つくる会」の思いをもう一度みんなで確認し、しばらくお休みしていた「新園舎」「認可園」を実現する運動を本腰を入れて再開する方針を決定しました。私とその議論の中で学び、今でも思い起こす意見があります。

「新園舎を建設するための資金集めにだけ頑張ろうと考えるのではなく、保護者・地域の住民として子どもたちの保育環境をより良いものにする保育運動の一環としてとらえたい。」

「現在は無認可保育園ではあるが、将来的には認可園としての運営を考え、県や各自治体にもあすなる保育園の存在意義を十分認



大きな柳の木がおばけになっちゃった。枝を引っ張って、ゆ〜らゆ〜ら。風が吹くと「さむいっていつて」とAちゃん。ここを通る度にやなぎおばけのことを気にしています。



竹遊び“せんぞやまんぞ”前に行ったり、後ろに行ったり、止まったり、動いたり…こんな身体の動きもにこにこで楽しめるようになったよ。



てをつなご〜♪ みんなでひとつの大きな輪になったよ。



ひとりの友達が箱に入ったら続々と集まって来て、あっという間に大人数。みんなと一緒に楽しいね。



識してもらい取り組みを大事にしたい。」
「広く募金をお願いする運動とともに、各自治体からの補助金を頂くことは当然の権利であることも自覚して自治体へのお願いに行きたい。」

このような議論は私自身にとっても「あすなる保育園をつくる会」の運動に誇りさえ感じさせてもらえました。

当時、私の職場である学校現場では「管理教育」「国からの教育内容・方法にかかわる締め付け」など、子どもたちの教育環境を悪化させ、教員の主体的な実践や研究を阻む国の教育施策が吹き荒れている真っ最中でした。

この情勢に対して教職員組合でも取り組

みを強化していた時でしたので、私の中ではどちらも「子ども達の将来を明るく幸せなものに」という点で一致していました。

「つくる会」では、覚悟を決めた時から即取り組みが始まったように思います。

何しろ「立ち退き」の期限がありますし、どうせなら年度切り替えの時期に「新園舎完成・保育開始」に合わせたいと思っていましたので、

- ①園舎建設候補地探し
- ②つくる会会員募集、建設募金集め
- ③県や各自治体との懇談、交渉という活動をすべて並行して動き始めたと思います。

(次号へ続く)



身体を動かすって楽しいね

春3人だったつくし組は、12月に9人になりました。ハイハイからつかまり立ち、1人立ち、歩行開始と大きく成長する時期。

あそこへ行きたい、触れてみたいという思いがふくらんでほしいなと願い、日々過ごしていきました。友達のことをよく見て、追いかげたり、自然に集まって、楽しく過ごしています。



春から遊んできた段ボール箱が今では小さく見えます。よじ登って滑るのも楽しい。



大玉追いかけて歩くの大変だけど面白い。



友達追いかけて、机の下ぐぐりまーす。1人がくぐれば、つづくよ。



ポンポン体操も保育士の真似しておどるよ。



大井公園の水場。緩い傾斜があっても転んでは立ち上がって友達と同じ所にいきたい。



大井公園の階段も自分でのぼるよ。



生活の主人公

生活の中では、自分で周りの状況を見たり、声をかけてもらいながら、“あ！ごはんだー、さんばいきたいな”と子ども自身が見通しを持って生活できることを大切に過ごしてきました。



さんばにでかけるよ。玄関まで行くよ〜。



自分の帽子を探します。時に友達の帽子を渡しに行くこともあります。



ごはんの準備。テーブルと椅子が用意されると、自分で椅子に向かって座ります。

おしゃべり♪あのね

- ◎友達が、薬を飲むときに
3歳Aくん「にがいおくすりがんばって！」
- ◎夕方月が出たのを見て2歳8ヶ月Kくん手をのばし「とれな〜い」保育士に駆け寄り「おつきさまとって」
- ◎夕方の庭で空気をいっぱい吸って
Sくん「おいしー」
- ◎3歳Hちゃん里芋食べて「うわ、ネバナバ！なんか納豆みたーい！」



絵本が大好き。絵本がある場所を指さして、催促もします。

ちょっと目先を変えて、お肉・お魚をおいしく!! ♪シンドリ〜チキン・フィッシュ



*新メニューですが、子どもたちにとっても好評
☆塩分は控えめメニューですが、美味しく食べられます。
調味料を混ぜてしまえば、簡単に出来ます。ぜひ、作ってみてください!!

【材料】

- (子ども1人分)
- 鶏モモ肉(鮭) 40g
 - ケチャップ 2.4g
 - カレー粉 0.03g
 - 焼き油 … 0.5g
 - ヨーグルト(無糖) …… 0.8g
 - しょうゆ … 0.8g

【作り方】

- 1、Aの調味料をすべて混ぜ合わせ、鶏肉(鮭)をつけておく。*20分くらいつければ大丈夫です
- 2、1を熱したフライパンに油をしき、火が通るまで焼く。*オーブンがあれば190度で20~30分で焼けます。
- 3、中まで火が通ったら出来上がり!!





「無料低額診療」をご存知ですか？

健和会病院小児科 和田 浩

「無料低額診療」をご存知ですか？

経済的に大変な方でも安心して診療が受けられるように、保険診療の自己負担分を無料または低額にするものです。

飯田下伊那では健和会病院だけがやっています（子どもは自治体の医療費助成制度があるので対象にはなりません）。

コロナで経済的に困窮している方がたくさんいるはずですよ。

そのために「本当は病院に行った方がいいと思うけれどがまんする」という方も少なくないと思います。

たとえば糖尿病で、薬をやめるのはよくない、放っておくと病気が悪くなって、いろいろまずいことがおきてくるとわかっていても、「お金がないから仕方がない」とあきらめてしまうのです。

お金のために命や健康をあきらめるなんて、そんな話があっというわけがないと思うのです。

でも、「無料低額診療」は、とにかく知られていません。

健和会病院では、いろいろな形で広報をしていますが、それでも知られていません。

なので、もし皆さんのまわりでそういう方がいたら、こういうのがあるそうだと知らせてほしいのです。

「無料低額診療」の対象になるかどうかは、収入などについて審査が必要ですが、まずはがまんしないでとにかく診察を受けて、費用のことはそれから相談したいと思います。

あすなるの予定

3月30日(火) 成長を祝う会

◆子ども達のがびのびと育つよう応援して下さい◆

あすなる後援会にぜひご参加を！

- ◎より多くの人にあすなるの事を知らせ、理解者を増やします。
- ◎より良い保育ができるよう職員、父母と一緒に、保育運動をすすめます。

編集後記

◆いいだ人形劇センターが主宰する『ほっこり』は、精神的や経済的に困難をかかえている子どもや若者、生きづらさを感じている高齢者などが世代を超え、人形劇を仲介にしてふれあう空間です。私もその手伝いをさせていただいています。困難をかかえていなくても大歓迎。一度あそびにきて下さい。詳しくはセンター

か私まで。㊦

◆2歳の息子が三明を見て『バナナー!!』『あ〜ん』と食べるマネをしていました。家族みんなでほっこりする瞬間でした。㊧

◆冬になり年が変わりました。息子二人は競い合うように半袖、半ズボンで学校に通っています。風邪もひかず、服もいらす、嬉しい限りです。原点はあすなるかな？㊨

◆2020年末に初孫誕生。こんな大変な時代によくぞ仲間入りしてくれました。スクスク育ち、自分の道を見つけて行ってほしいと思います。4月か5月に西宮市の『あすなる保育園』入園を希望しています。親子そろって“あすなるっ子”!!㊩

◆看護師を目指す長女の病院通いが急遽できず。学内実習中。負けないでリモートも続くだろうけど世界中のみんな〜ポジティブシンキングしていこう!㊪

次号は5月1日発行予定です。いろいろ情報や原稿、ご意見、ご感想をお寄せ下さい。